

# 市長総括説明から

(3月6日)

平成18年第1回市議会定例会が開かれました。

市長から表明のあったまちづくりと市政運営にあたっての所信および、新年度に取り組み主な施策等についてお知らせします。

過去における未来に向けた限らない努力に感謝しつつ、私たちが将来世代のための努力を続け、未来への責任を果たすまちづくりを進めます。また、豊岡の自然や歴史、伝統、文化を大切にし、「誇りとやすらぎに満ちたまちづくり」を進めます。さらに、豊岡市を形づくった6つの地域が、それぞれの個性を磨き、連携し、調和することにより、全体として、より「輝やくまちづくり」を進めます。

持続可能な自立した行政体制の確立を図るとともに、市民の自立的・自発的活動にも意を用いて、自立のためのま

ちづくりを進めます。そして、市民の皆さんとの対話を進め、対話から生まれる共感をもとに施策等の実施にあたるよう、「対話と共感のまちづくり」を進めます。

コウノトリの野生復帰をシンボルとする「人と自然が共生する豊岡のまちづくり」は、多くの人の共感を呼んでいます。日本の一地方都市にすぎませんが、世界の人々に尊敬され、尊重される「小さな世界都市」の実現に向け、歩みを進めていきます。

## 新年度の主な施策

### 安全安心のまちづくり

台風23号による災害からの復旧事業と、被災者支援を引き続き進めるとともに、国や県の関連事業の促進に全力を尽くします。また、道路・河川などの改修整備、消防・救急・防災対策の充実や、交通安全・防犯対策の実施など、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。具体的には、竹野および但東地域の防災行政無線の整備

を、新年度から3カ年計画で行います。また、台風23号が襲来した10月20日を「メモリアルデー」とし、阪神淡路大震災演劇公演などを実施します。

### 元気な経済の創生

将来にわたり自立したまちづくりを進めるためには、地域経済の活性化が不可欠です。環境経済戦略の展開、産業基盤の充実や活性化を図り、まちの魅力の発信と地域資源を最大限に活用した特色あるまちづくりを進めます。

具体的には、城崎温泉の活性化を図るため(仮称)木屋町小路の実施設設計、テナント募集業務への着手、また、豊岡かばん・麦わら細工・出石焼、但馬ちりめんなどの特産業および伝統工芸の振興を図るとともに、「ものづくり市民フォーラム」を新たに開催します。

### 豊かな環境の創造

コウノトリの野生復帰をシンボルとして、人と自然が共生できる豊かな地域づくり、循環型のまちづくりを進め、環境を大切に作る人づくりに努

めます。

具体的には、豊かな環境づくりの一環として、戸島地区に湿地公園構想を策定するほか、「地域交流センター(仮称)」を整備し、環境経済戦略の推進拠点とします。

### 心身の健康づくり

市民が生涯を通じて、心身ともに健康で生き生きと暮らすことができるよう、健康増進を図るとともに、保健予防事業を進めます。また、スポーツ・レクリエーションに親しむことのできる環境づくりを進め、のびのびと兵庫国体の円滑な実施に努めます。

具体的には、総合検診や相談など各種の保健予防事業を推進します。また、旧豊岡病院跡地については、健康増進の中核的機能を持つ「総合健康ゾーン」としての整備に向け検討していきます。

### 健やかな子ども育成

安心して子どもを生み、育てられるよう、多様なニーズに対応した子育て支援および少子化対策を推進します。また、関係機関・団体と連携

し、明日を担う子どもたちが心身ともに健やかに成長できるように、子どもの安全を守り、教育施設や野外活動施設の充実を支援します。

具体的には、放課後児童クラブを新たに3カ所設置するほか、第2児童クラブ2カ所も新設し、保護者のニーズに対応した施策の拡充に努めます。また、外国の異文化や歴史を学び、国際感覚を身につけグローバルな視野・見識を持つ人材を育成するため、小中学生を中心とした使節団の派遣などを行います。

### コミュニティの醸成・日々楽しむまちづくり

豊かな歴史・伝統や、薫り高い優れた芸術・文化にふれることにより、郷土愛を育み、一人ひとりが日々の暮らしを楽しむことのできるまちづくりを進めます。また、生涯学習や交流の拠点づくりなどにより、地域力を高め、自立したまちづくりを促進します。具体的には、明治の芝居小屋である「永楽館」の復原工事の着手、全国的に評価の高い「仲田光成記念但馬竹野全

国かな書展」の開催、また、地区公民館整備計画に基づいた、年次的な施設整備に着手します。

### 共生のまちづくり

障害の有無や年齢にかかわらず、家庭や地域の中で一人ひとりがやすらぎのある暮らしができるよう、共に生きるまちづくりを進めます。また、バリアフリーのまちづくりや市民の社会参加を促し、女性の登用に努めます。

具体的には、老人保健福祉計画および第3期介護保険事業計画に基づく事業展開を図るとともに、「地域包括支援センター」や、「豊岡市障害者自立支援認定審査会」を設置し、対応していきます。

### 交流基盤のまちづくり

人・モノ・情報が行き交い、夢と希望を抱きながら、活力ある地域づくりが進むよう、道路・鉄道・バス・空路などの交通網や、生活基盤などの整備促進に努めます。

具体的には、北近畿豊岡自動車道の事業促進の要請、また、市内の小学生全員に無料

航空券引換券を贈呈するとともに、運賃助成による空港の利用促進を図ります。

### 市政の運営

「対話と共感」を基本に据え、持続可能な財政運営を図ります。また、市の目指すべき都市像と、都市像実現のための戦略および具体的な施策をとりまとめた総合計画など、まちづくりの指針となる計画を策定します。

具体的には、インターネットを通じた議会会議録検索システム構築や、市のホームページに新たに英語表記を付加します。

### 懸案事項・諸般の報告

#### 旧豊岡病院跡地利用計画

「豊岡病院跡地の利用構想（案）」については、昨年9月改めて跡地利用についての検証・見直し作業を行いました。その結果、「健康増進拠点機能」を持つ総合健康ゾーンが最も有効であると確認し、基本計画の策定作業を進めています。

ます。

#### 地域交流センター

コウノトリ放鳥後、郷公園への来場者が増加していることから、地域活性化と経済効果につながることを目的に施設整備を行うもので、年内にオープン予定です。

また、同施設の実質的運営にあたるコンソーシアム（企業等連合体）を、今春に設立すべく準備を進めています。

#### 市の組織改革

農林水産業政策と環境政策との連携を強化するとともに、環境創造型農業を推進し、あわせて対外的アピールを強化するため、農林水産課、農業共済課およびコウノトリ共生課の3課で構成する「コウノトリ共生部」を設置します。

また、新たに危機管理および防災を担当する防災課を設置します。なお、消防長兼務として消防本部に配置している防災監を本庁に配置します。

#### 広域的障害児療育事業

地域療育の拠点として、総合的な障害児療育を実施する

ため広域的障害児療育施設の整備を進めます。施設は、新公立豊岡病院に隣接するゾーンを予定しています。「通所機能」と「地域療育機能」を合わせ持ち、それぞれが連携し、相互補完的に機能するような施設整備を考えており、平成20年度の完成を目指します。

#### コウノトリ但馬空港の神戸路線開設

神戸空港とコウノトリ但馬空港との新たな定期路線の開設について、昨年12月、兵庫県から地元の意見を求められ、現在、市町長間で協議を行っています。基本的な考えがまとまり次第、議会等に示し議論をいただき、適切な判断をしたいと考えています。

#### 災害復旧復興事業の進捗状況

平成17年度施工予定の災害復旧工事の発注はすべて終え、早期の工事完了を目指しているところですが、また、兵庫県公共土木施設災害の進捗については、完了率43・4パーセントです。

農地・農業用施設災害復旧

事業については、すべての工事発注を終え、市単独の小災害復旧事業はほぼ完了し、国庫補助事業については農地82・2パーセント、農業用施設82・4パーセントの完了率です。山地災害復旧についても、完了に向け計画的に順次施工しています。

#### 円山川緊急治水対策事業 等国県事業

工事全体としては、平成16・17年度ベースで、60パーセント程度の進捗率と聞いています。今後も、国・県と連携を密にし、事業促進を図っていきます。

#### 豊岡消防署出石分署 但東駐在所の開設

但東地域における救急体制については、要望書や各方面からの必要性の指摘をいただいたことに加えて、第二次救急指定病院の出石病院が、夜間の傷病者の受け入れ困難な状況もあることから、但東総合支所内に職員10名、高規格救急自動車1台を配備して、10月1日から24時間体制で救急業務を開始します。